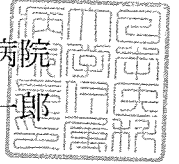


都道府県精神保健福祉士協会
ご担当者各位

日本医科大学付属病院
院長 汲田 伸一郎



「令和 5 年度 自殺未遂者支援拠点医療機関整備事業」にかかる
研修会の御案内（周知依頼）

平素より当院の精神科医療にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

このたび、「令和 5 年度 自殺未遂者支援拠点医療機関整備事業」の一環として、当院において下記の通り研修を開催することとなりました。

つきましては、貴団体の定期刊行物やホームページ、メーリングリスト等の各種媒体を経て可能な範囲で構成員各位への周知にご協力をいただきますようお願い申し上げます。

記

1. 開催日時

令和 5 年 11 月 25 日（土）13 時 00 分～17 時 00 分

2. 研修テーマ

精神保健福祉士向け自殺予防基礎研修

自殺ハイリスク者にきづき、適切なケアを提供するために
自殺予防の基礎知識とリスクアセスメント・対応の基本

3. 開催方式及び定員

開催方式：オンライン（Webex ミーティングシステム）

参加定員： 200 名

※開催場所、申し込み方法等の詳細は添付資料をご確認ください。

4. 問い合わせ先

日本医科大学付属病院 精神神経科

精神保健福祉士 大高 靖史 E-mail : otaka-y@nms.ac.jp



令和5年度自殺未遂者等支援拠点医療機関整備事業



精神保健福祉士向け自殺予防基礎研修

自殺ハイリスク者にきづき、適切なケアを提供するために 自殺予防の基礎知識とリスクアセスメント・対応の基本

日時：2023年11月25日（土）13:00 - 17:00

形式：オンライン（webexミーティングシステムによるオンライン研修）

参加費：無料 定員：200名（web）

企画概要：精神保健福祉士（MHSW）は我が国の自殺対策を推進する上で重要な職種であり、自殺総合対策大綱でも様々な分野での対応がその職能に求められています。一方で、自殺予防について学ぶ機会が少ないためか、現場のMHSWの中には「対応への自信のなさ」や「困難感の強さ」がみられる方が少なくないことが明らかにされています。

現場のMHSWに必要な自殺予防の基礎（知識、リスクアセスメント、対応の基本）を学べる機会として、東京精神保健福祉士協会 自殺対策委員会のメンバーがこれまで実施されてきた「essential研修」をご講義いただきます（講義のみ・演習等は実施しません）。

講師：

東京精神保健福祉士協会 自殺対策委員会 委員長

柳瀬 一正 先生

東京精神保健福祉士協会 自殺対策委員会 相談役

吉野 比呂子 先生

東京精神保健福祉士協会 自殺対策委員会 副委員長

田村真弓 先生

申し込み：下記URLまたはQRコード

(google form) よりお申込みください

<https://forms.gle/jBdJQ52fiSbu5goc6>



申込み締め切り：2023年 11月16日

主催：日本医科大学付属病院 後援：日本精神保健福祉士協会

お申込みに当たっての諸注意

・受講には以下の①、②が必須です。

① WEB カメラとマイク機能のある PC（推奨）、またはタブレット、スマートフォン等。②インターネット接続環境（通信が安定する有線 LAN 接続推奨。または無線 LAN 等。受講にかかる通信料は受講者負担となります。通信データ量が大きいいため、スマートフォンのパケット通信等によるご参加は通信料金にご注意ください）

・当日までの各種ご案内はメールでさせていただくため、必ず添付資料の受信が可能なメールアドレス、会社使用ではなく個人使用のメールアドレスをご記入ください。

・フォーム入力においてメールアドレスの入力ミスがあった場合は対応を致しかねます。ご入力間違いの無いよう、確認いただきご入力をお願いいたします。

・講演中の内容を当委員会で録音・録画させていただきますが、受講者の録音・録画は禁止とさせていただきます。

・当日、または研修の前後に、研修の効果・理解度を確認する目的でアンケートの実施を予定しています。回答は任意ですので、可能な方はご協力ください。

・運営側の webex の不具合などにより研修の続行が難しくなった場合は、研修を中止させていただく可能性があります。中止した場合の対応については別途ご案内いたします。

・研修当日における受講者側の webex 接続不具合や通信トラブル等について、当委員会では対応できません。音声及びチャット機能等でのお問い合わせはご遠慮ください。

■お問い合わせ

日本医科大学付属病院
精神神経科 大高靖史

E-mail: otaka-y@nms.ac.jp